

新型コロナウイルス感染症に関する行政報告をいたします。

新型コロナウイルス感染症が流行してから、今年で3年を経過したところではありますが、最近における新規感染者数は、国内、道内ともに減少傾向が続いており、本市におきましても同様の傾向となっております。

国におきましては、先般、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を変更し、マスク着用の考え方の見直しを行い、今月13日から個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねるとされ、また、学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本に、4月1日から適用するとされたほか、同日前に実施する卒業式では、児童生徒・教職員は着用せず出席することを基本とされたところであります。

このことを受け、北海道においては、マスク着用に関

する情報を道民へ周知を図るとともに、卒業式におけるマスクの着用については、児童生徒及び教職員は、式典を通じてマスクを外すことを基本に、来賓や保護者等にはマスクの着用と、校歌等の斉唱や、複数の児童生徒による「呼びかけ」を実施する際には着用するなど、道としての考え方が示されたところです。

このことから本市におきましては、マスクの着用に関し、国や道に準じ対応することを6日に開催した、市対策本部会議で決定するとともに、市職員の勤務中におけるマスクの着用は、個人の判断に委ねることとなりますが、来庁者の中にはマスクが無いと不安視される方がおられることも想定されるため、当面、勤務中はできるだけ着用の協力を求めることとしております。

また、市立芦別病院に勤務する職員については、勤務中は引き続きマスクの着用と、周囲に人がいない場合など、着用の必要がないと考えられる場合には、着用を求

めないこととし、病院を受診される方や訪問者については、院内での着用をお願いすることとしております。

加えまして、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを、国は、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなど特段の事情が生じない限り、5月8日より5類への引き下げとともに、令和5年度のワクチン接種については、情報によりますと、初回接種を終了した65歳以上の高齢者及び5歳から64歳の方で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方等には、オミクロン株2価ワクチンの接種を5月から先行実施することや、9月から12月にかけて、初回接種を終了した5歳以上のすべての方を対象に接種を行うことのほか、医療体制の見直し等を含め、近く、国から具体的な考え方が示されることとなっております。

このため、本市といたしましては、今後の情報をもと

に接種体制等の取りまとめや、市内医療機関等との協議を行いながら、今議会開会中に、必要な経費に係る補正予算案の提案を予定いたしているところであります。

今後、マスク着用の考え方の変更をはじめ、様々な規制の緩和とともに、各種イベントの再開が想定されますが、国の「基本的対処方針」では、マスク着用の考え方の変更適用後においても、基本的な感染症対策は重要とされており、市民の皆様には、手洗い等の手指衛生や換気等の励行について、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症に関する行政報告といたします。